

特集展示・トピック展示のご案内

長崎歴史文化博物館は、2階常設展示室の展示替えを定期的に行っております。
是非、ご取材・情報掲載の程、宜しくお願い申し上げます。

特集展示「花の宴(えん)」



特集展示「花の宴(えん)」

会 期：3月20日(火)～5月20日(日)

会 場：特集展示室

(2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン内)

時間：8:30～19:00 (最終入館18:30)

観覧料：大人600円、小中高校生300円

※県内小中学生は無料

古くから季節の花と宴は切っても切り離せないものです。時と共にうつろい、散りゆく美しさをなんとかとどめようとするかのように、工芸品をはじめとして着物や絵画などに多くの花々が描かれました。本展では、青貝細工の漆工品を中心に、古来より日本人に愛され、生活に寄り添ってきた春の花々が描かれた作品を紹介します。薄い貝の下に彩色を施す「伏彩色(ふせさいしき)」という特殊な螺鈿細工技法によって絵画的な表現を可能にした青貝細工の漆工品は、長崎の地で生産されたヨーロッパ向けの輸出漆器としてよく知られています。当館には梅や桜といった私たちになじみの深い四季の花々や、かわいらしい小鳥たちが可愛らしくデザインされた、日本国内向けに制作されたとみられる作品も多く所蔵されています。絢爛で装飾的な輸出用漆器とは少し違った、控えめながらも愛らしく美しい魅力は是非お楽しみください。



《青貝細工 花鳥図螺鈿小筆筥》当館蔵

トピック展示

トピック展示「花の名所と長崎」

会 期：3月20日(火)～4月15日(日)

会 場：2階常設展示室 歴史文化展示ゾーン 近代の魁・長崎コーナー

時間：8:30～19:00 (最終入館18:30)

観覧料：大人600円、小中高校生300円 ※県内小中学生は無料

明治時代、長崎には花の名所として賑わった場所がありました。桜の名所として知られた場所に「中川カルルス」と「萬象園(ばんしょうえん)」があります。「中川カルルス」は中島川上流に位置する中川に、明治30年代温泉場や茶店が設置されたことにはじまります。また、萬象園は明治2年(1869)に長崎近郊の道の尾で創業したラジウム温泉を持つ旅館で、西洋風の庭園を備えていました。



《名勝中川カルルスの桜》当館蔵

